

科目分類	看護専門科目 領域別看護	開講時期	2年	後期		
科目名	小児保健学					
選択/必修	必修	単位数(時間数)	1単位	15時間	授業形態	講義
担当教員	西村 真実子					
メールアドレス	教務学生課に連絡すること。	オフィスアワー	授業の前後			

授業目的	小児看護学や小児保健の理念を育むために、子どもの健康や成長・発達をサポートする母子保健活動、支援、子どもと家族をとりまく近年の諸問題について学ぶ。
授業概要	子どもの成長・発達のプロセス、望ましい養育環境や子育て、子どもの健康増進および成長・発達をサポートする母子保健活動や支援について、特に、養育者の子育て不安や子ども虐待など、子どもと家族をとりまく近年の諸問題の背景や発生機序、虐待的養育環境が子どもやサバイバーにもたらす影響、虐待予防のための保健・医療・福祉のシステムや子育て支援活動、養育者との関わりや支援、子どもとの関わりや支援について、ビデオや事例を用いて教授する。さらに、子育て不安や子ども虐待という現象を概念的で特別な現象としての理解でなく、身近な問題としてとらえられるように、手記や紙上事例を用いて、対応や支援についてグループワーク等を通して検討する。
授業計画	<p>第1～2回 心理社会的発達その2：幼児後期・学童期・思春期情緒、自我・対人関係、言葉、社会性、認知・思考の各側面の発達 *事前ビデオ視聴の課題あり</p> <p>第3回 社会化(しつけ)</p> <p>第4回 子どもの事故防止</p> <p>第5～6回 子どもと家族を取り巻く問題とその対応： 育児不安・育児困難・子ども虐待の予防 育児不安や子ども虐待とは、類似概念、背景要因・発生要因、支援、他機関・多職種との連携など *事前ビデオ視聴の課題あり</p> <p>第7回 子どもの健康と成長発達の保証および子ども虐待予防等をめざした母子保健システムと母子保健活動(子どもの健康指標含む)</p> <p>第8回 ドラマ「愛を乞う人」(または事例)から子ども虐待予防や子育て支援について考える</p>

<p style="text-align: center;">教材 参考文献等</p>	<p>教科書 中野綾美編：ナーシング・グラフィカ 28 小児看護学 小児の発達と看護、 メディカ出版、2019(第6版) 参考書 長田久雄：看護学生のための心理学、医学書院、2002 長谷川博一：たすけて！私は子どもを虐待したくない世代連鎖を断ち切る支援、怪書房、2003</p>
<p style="text-align: center;">成績評価 基準・方法</p>	<p>定期試験 50% レポート課題 50%</p>
<p style="text-align: center;">履修要件</p>	<p>特になし</p>
<p style="text-align: center;">留意事項 その他</p>	<p>本科目を修得していないと小児看護学実習は履修できません。</p>